

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成27年11月26日(2015.11.26)

【公表番号】特表2014-530607(P2014-530607A)

【公表日】平成26年11月20日(2014.11.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-064

【出願番号】特願2014-535033(P2014-535033)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)
 A 6 1 K 38/00 (2006.01)
 A 6 1 K 47/48 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 A 6 1 P 25/00 (2006.01)
 A 6 1 P 11/00 (2006.01)
 A 6 1 P 9/02 (2006.01)
 A 6 1 P 9/10 (2006.01)
 A 6 1 P 13/12 (2006.01)
 A 6 1 P 27/02 (2006.01)
 C 0 7 K 14/47 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A
 A 6 1 K 37/02
 A 6 1 K 47/48
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 P 11/00
 A 6 1 P 9/02
 A 6 1 P 9/10
 A 6 1 P 13/12
 A 6 1 P 27/02
 C 0 7 K 14/47

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月6日(2015.10.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

阻害または活性化タンパク質ドメイン、核移行配列、およびタンパク質トランスダクシヨンドメインに融合した受容体遺伝子プロモーターを、特異的にターゲティングするポリダクチルジンクフィンガータンパク質を含む人工転写因子。

【請求項2】

受容体遺伝子プロモーターがエンドセリン受容体Aプロモーターである、請求項1記載の人工転写因子。

【請求項3】

受容体遺伝子プロモーターがエンドセリン受容体Bプロモーターである、請求項1記載

の人工転写因子。

【請求項 4】

受容体遺伝子プロモーターが T o l l 様受容体 4 プロモーターである、請求項 1 記載の人工転写因子。

【請求項 5】

受容体遺伝子プロモーターが F C E R 1 A プロモーターである、請求項 1 記載の人工転写因子。

【請求項 6】

六量体性ジンクフィンガータンパク質を含む、請求項 1、2、3、4 または 5 記載の人工転写因子。

【請求項 7】

配列番号 3 1 ~ 配列番号 3 7、配列番号 3 9 ~ 配列番号 4 3、配列番号 4 5 ~ 配列番号 5 0、配列番号 5 2、配列番号 5 4 ~ 配列番号 5 7、配列番号 5 9 ~ 配列番号 6 4、配列番号 6 6 ~ 配列番号 8 0、配列番号 8 2 ~ 配列番号 9 5、配列番号 9 7 ~ 配列番号 1 1 8、配列番号 1 2 0 ~ 配列番号 1 3 6、配列番号 1 3 8 ~ 配列番号 1 4 3、配列番号 1 4 5 ~ 配列番号 1 5 3、配列番号 1 5 5 ~ 配列番号 1 6 4、配列番号 1 6 6 ~ 配列番号 1 7 3、配列番号 1 7 5 ~ 配列番号 1 8 1、および配列番号 1 8 3 ~ 配列番号 1 9 1 から成る群より選択されるタンパク質配列のジンクフィンガータンパク質を含む、請求項 2、3、4 または 5 記載の人工転写因子。

【請求項 8】

配列番号 5 6、8 3、8 5、1 0 1、1 1 4、1 1 8、1 2 7、1 3 3、1 4 0、1 4 2、1 4 6、1 4 7、1 5 6、1 5 9、1 7 5、および 1 8 1 から成る群より選択されるタンパク質配列のジンクフィンガータンパク質を含む、請求項 2、3、4 または 5 記載の人工転写因子。

【請求項 9】

配列番号 1 1 8、1 3 3、1 5 6、または 1 7 5 のジンクフィンガータンパク質を含む、請求項 2、3、4 または 5 記載の人工転写因子。

【請求項 1 0】

ジンクフィンガータンパク質が阻害タンパク質ドメインに融合している、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項記載の人工転写因子。

【請求項 1 1】

阻害タンパク質ドメインが、配列番号 1 の N 末端 K R A B、配列番号 2 の C 末端 K R A B、配列番号 3 の S I D、または配列番号 4 の E R D である、請求項 1 0 記載の人工転写因子。

【請求項 1 2】

ジンクフィンガータンパク質が活性化タンパク質ドメインに融合している、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項記載の人工転写因子。

【請求項 1 3】

活性化タンパク質ドメインが、配列番号 5 の V P 1 6 または配列番号 6 の V P 6 4 である、請求項 1 2 記載の人工転写因子。

【請求項 1 4】

核移行配列が、K - K / R - X - K / R コンセンサス配列を含む塩基性アミノ酸クラスターまたは配列番号 1 9 6 の S V 4 0 N L S である、請求項 1 ~ 1 3 のいずれか一項記載の人工転写因子。

【請求項 1 5】

タンパク質トランスダクシヨンドメインが、配列番号 7 の H I V 由来 T A T ペプチド、H S V - 1 V P 2 2 ペプチド、配列番号 1 9 2 の合成ペプチド m T 0 2、配列番号 1 9 3 の合成ペプチド m T 0 3、配列番号 1 9 4 の R 9 ペプチド、A N T P ドメイン、または防御抗原 / 致死因子 N 末端 P T D である、請求項 1 ~ 1 4 のいずれか一項記載の人工転写因子。

【請求項 16】

阻害または活性化タンパク質ドメインおよび核移行配列に融合した、エンドセリン受容体 A プロモーターを特異的にターゲティングするポリダクチルジンクフィンガータンパク質を含む人工転写因子。

【請求項 17】

阻害または活性化タンパク質ドメインおよび核移行配列に融合した、エンドセリン受容体 B プロモーターを特異的にターゲティングするポリダクチルジンクフィンガータンパク質を含む人工転写因子。

【請求項 18】

阻害または活性化タンパク質ドメインおよび核移行配列に融合した、Toll様受容体 4 プロモーターを特異的にターゲティングするポリダクチルジンクフィンガータンパク質を含む人工転写因子。

【請求項 19】

阻害または活性化タンパク質ドメインおよび核移行配列に融合した、FCER1A プロモーターを特異的にターゲティングするポリダクチルジンクフィンガータンパク質を含む人工転写因子。

【請求項 20】

請求項 1 ~ 19 のいずれか一項記載の人工転写因子を含む薬学的組成物。

【請求項 21】

外部刺激および他の可溶性シグナリング分子に対する細胞の反応の調節において使用するための、請求項 1 ~ 19 のいずれか一項記載の人工転写因子。

【請求項 22】

ポリダクチルジンクフィンガータンパク質が受容体遺伝子プロモーターを特異的にターゲティングする受容体への特異的エフェクターの結合によって調節される疾患の処置において使用するための、請求項 1 ~ 19 のいずれか一項記載の人工転写因子。

【請求項 23】

エンドセリンに対する細胞応答に影響させることにおいて使用するための、エンドセリン受容体 A のレベルを低下または増加させるための、およびエンドセリンによって調節される疾患の処置において使用するための、請求項 2 および 6 ~ 16 のいずれか一項記載の人工転写因子。

【請求項 24】

エンドセリンに対する細胞応答に影響させることにおいて使用するための、エンドセリン受容体 B のレベルを低下または増加させるための、およびエンドセリンによって調節される疾患の処置において使用するための、請求項 3、6 ~ 15 および 17 のいずれか一項記載の人工転写因子。

【請求項 25】

リポ多糖に対する細胞応答に影響させることにおいて使用するための、Toll様受容体 4 のレベルを低下または増加させるための、およびリポ多糖によって調節される疾患の処置において使用するための、請求項 4、6 ~ 15 および 18 のいずれか一項記載の人工転写因子。

【請求項 26】

IgE に対する細胞応答に影響させることにおいて使用するための、IgE 受容体のレベルを低下または増加させるための、および IgE によって調節される疾患の処置において使用するための、請求項 5 ~ 15 および 19 のいずれか一項記載の人工転写因子。

【請求項 27】

ポリダクチルジンクフィンガータンパク質が受容体遺伝子プロモーターを特異的にターゲティングする受容体への特異的エフェクターの結合によって調節される疾患を処置するための、請求項 1 ~ 19 および 21 ~ 26 のいずれか一項記載の人工転写因子を含む、医薬組成物。

【請求項 28】

エンドセリンによって調節される疾患を処置するための、請求項 2、3 および 6 ~ 17 のいずれか一項記載の人工転写因子を含む、医薬組成物。